

デジタル変革 (DX)

積水化学グループにとってのデジタル変革 (DX) のミッションは、長期ビジョン実現のための成長戦略・構造改革を加速、下支えすることです。

不確実さを増す経営環境において持続的な成長を達成するために、従来のガバナンス (内部統制)、ビジネスプロセス、業務プロセスを見つめ直し、「見える化・標準化」*1 「生産性向上」「高度化」の視点で変革を進めていきます。

*1 「見える化・標準化」:業務標準化、ERP*2導入、インフラ・ネットワーク刷新

*2 ERP: Enterprise Resources Planning の略。企業の会計や人事、生産業務や販売業務等の基幹となる業務を統合し、一元的に管理するシステム。

DX 推進の取り組み

		FY20実績	FY21実績	FY22	FY25
グローバル経営基盤強化	基幹システム(グローバルERP*2)の刷新 意思決定に必要なデータの可視化・分析、業務標準化・効率化による間接業務の生産性向上、グローバルでの業務標準化、内部統制向上とリスク極小化を目指す。	経営管理高度化・標準化の要件定義と、グローバルERPの導入契約を実施	導入拠点の優先度を定めるため、対象ビジネスプロセスの要件を定義	国内の主な拠点での会計業務移行完了	海外拠点展開準備完了
購買	グローバルでの購買業務の標準化と取引データの可視化 不正行為の抑止や早期発見を可能とする。また、全体最適購買を実現することによる購買力の向上や調達コスト削減、購買業務効率化等、継続的にコスト削減できる仕組み・基盤の定着を実現する。	間接購買システムの導入を決定	モデル工場にて間接購買システムの実証と拠点展開の準備を推進	国内の主な拠点への展開完了	海外拠点展開拡大
営業・マーケティング	効率的な業務モデルの標準化と業務プロセスの見える化 営業・マーケティング関連業務のカンパニー間のシステム不統一や俗人化等の問題を解決し、業務の標準化・自動化により徹底的な効率化・生産性向上を目指す。	マーケティングオートメーションの活用、顧客状況の可視化、データ分析を活かし、受注拡大プロセスを強化推進。社内報告工数を削減するシステムの導入や情報セキュリティ対策もあわせて推進	データ分析を活かした受注拡大プロセス強化の実証を完了。 国内営業所への展開を実施		
リモートワーク	リモートワークの推進 事務所以外の場所(自宅・外出先・サテライトオフィス等)から社内の業務システムを活用して業務を行うことを可能にし、社員の多様な働き方を実現する。	社内の業務システムに世界中どこからでもアクセス可能なIT基盤「MobileNET」構築	IT基盤「MobileNET」の展開とともに「統合認証基盤」を構築することで、在宅勤務における業務の生産性と情報セキュリティの確保を両立		

DX 推進体制

積水化学グループでは、全社一体となってDXを推進するため、2020年4月に「デジタル変革推進部」を新設しました。多様な事業を展開している当社グループにおいて、業務の標準化・高度化を着実に推進するため、社長および担当役員をトップとする推進体制を敷いています。「デジタル変革推進部」はこの体制におけるプロジェクトリーダーとして機能します。2021年4月からは、各カンパニーにもデジタル変革推進部署を設け、各事業の強みを活かす領域の競争力強化に取り組んでいます。

また、「サステナビリティ委員会」の下に、デジタル変革推進部担当役員を委員長とした「DX分科会」を新たに設置し、デジタル戦略に関する基本方針の審議やデジタル変革の進捗と効果を確認するとともに、全社業務プロセスの標準化や全社基幹システムの刷新などの重要施策について経営の観点から審議し、判断を行っています。